

# 鳥取県青少年育成アドバイザー 協議会通信

鳥取県青少年育成アドバイザー通信 78号  
鳥取県青少年育成アドバイザー協議会  
発行日 2018. 10. 8  
編集 芳村恵子

## 平成30年度鳥取県青少年育成アドバイザー 協議会第1回研修会

日時 平成30年9月15日(土)  
午前10時～12時  
会場 スペースゆい  
出席者 山本会長 井上 石田 清水 新川  
竹本 西浦 西上 万木 芳村

### 報告:

- (1) 全日本功労表彰(芳村)
- (2) 青少年育成県民会議の動き(西浦)
- (3) 中四国青少年育成アドバイザー連合会総会・研修会について(清水)
- (4) 全日本青少年育成アドバイザー連合会・研修会について(山本会長)  
「青少年育成条例について」

### 講義:

「子ども食堂を開設して」西浦副会長

### 近況報告:

各会員の今年度の取り組みについて

上記の項目に沿って報告・講義を受けました。詳細は、全日本青少年育成アドバイザー連合会のホームページを読んで頂きたいと思います。

また前号の『笑顔いっぱいあふれる癒しの場「岩美こども食堂」』の実践の場で、具体的な様子を聞かせて頂きました。



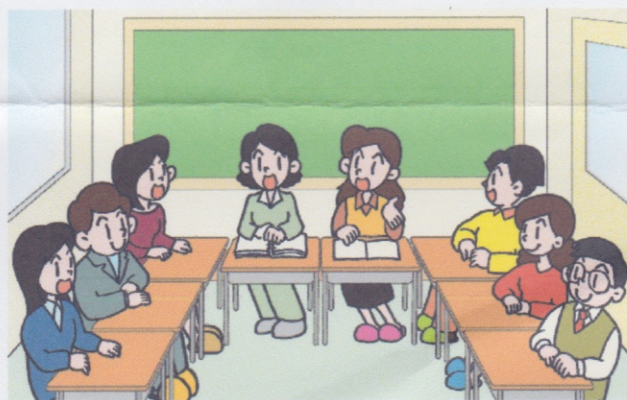
あっという間の2時間でした。その後、子ども達も食べているというカレーライスをご馳走して頂きました。アドバイザーOBで子ども食堂支援者である澤喜美枝さんと共に、大鍋に辛口と甘口を用意してくださっていて、その心遣いと美味しさで、心もお腹も満腹になりました。

## 私の近況と今後の夢

竹本万寿子

9月15日に岩美の西浦亭での研修会に久しぶりに参加させていただきました。皆様の笑顔に接し、熱意ある報告や発表を拝聴いたしますと、やはりこの会に在籍していて良かったと思った次第です。

青少年育成アドバイザーと言っても、実のところ実際に青少年に触れ合う機会はあまりありません。私の日頃の活動と言えば、近況報告でもお話ししましたが、鳥取県教育委員会のファシリテーター、鳥取市生涯学習課の子育てサポーター、そして鳥取市家庭教育相談員協議会としての活動などです。



特にファシリテーターとして保育園や小中学校の保護者の研修会に派遣されることに、意義と楽しさを感じています。保護者の方々がグループ討議をして、その結果を発表し合い、様々な対話の中から参加者それぞれが自分の心を整理していこうとするもので、その進行役がファシリテーターの仕事です。

次のページへ続く

保護者同士とはいえ、日頃ほとんど話したりしない方々が、和気藹々と話が弾んで盛り上がっているのを見ると、会話の少ない現代人にはこういったことが必要なのかな、させて頂いて良かったななどいつも思います。

今年の3月には、鳥取市家庭教育相談員協議会の主催で、雛祭り展示公開中の弊宅で「親子で雛祭りクイズ」という催し物をしていただきました。これは自分の趣味を活かし、参加した方に楽しんでもらえて、とても嬉しかったです。

今後の私の希望としては、青少年の方々に（そうでない人にも）「能楽」を解り易く、楽しく観ていただけるような「お話の会」をしてみたいなということです。

最近日本の様々な伝統文化が廃れて、大人もそうですが、若い人々もそれに触れる機会が無くなってきています。日本人ならやはり日本の文化を大切に、かつ楽しめる力を持って欲しいと思うのですが、いかがでしょうか。

今日は私の近況と日頃考えていることを、とりとめもなく書きました。皆様、今後とも宜しくお願いします。

## 美保学園での篤志面接委員の日々

万木秋弘

私は平成27年に篤志面接委員を拝命してからまだ3年余りで、入園生達と接する時間は少なく、月に一度・1時間の講話ですから合計しても通算40時間足らずです。

美保学園は昭和22年5月に開設され平成27年に短期義務教育課程・短期社会適応過程を実施する少年院となり、原則として14歳以上20歳未満の者を収容し、その特性に応じた適切な矯正教育等を行うことで、在院生の改善更生及び円滑な社会復帰を図る目的として現在に至ります。

篤志面接委員は、濱田会長（指画の国内第一人者）を初めとし5名（学識経験者、保護司、元教師の方等）（全国では1570名）です。

教誨師の先生（主として宗教関係者）は7名です。

少年たちは、少年院の中で様々な指導を受け、様々な人との関わりを通じて自分自身を見詰め直

し、これからの生き方について考えていきます。「これで変わっていききたい」と、「これまでとは違う生活がしたい」と思って社会に戻っていくわけですが、そのまま社会に戻ってうまくいくかというと実はそうではありません。安定した生活をするためには、やはり安定した職業につくこと、学校に行くことがとても大事な事です。それに必要な知識、技能、基本的な学力が少年院に入った段階ではないという状況にあるし、人と適切にかかわっていく方法や自己表現がうまくできず、人と安定した関係ができない等様々な問題を抱えています。それを克服するには大変な時間が必要で、少年が社会に帰った時に困らない様に、また少年が生きたい人生をちゃんと生きられるような指導が少しでも出来るように努めています。



私は商工部門の職業講話を担当させていただいて、毎月ホールに園生を集めて自分で作った資料を基にしたり、DVDを見たりして講話をしています。彼らの身近な所に視点を置いて、毎回違う内容で具体的で理解できるように話すように心がけています。最近「プロジェクトX」や「プロフェッショナル仕事の流儀」のDVDと一緒に見て、様々な業種の職人さんや専門家がどんな気持ちで今の仕事に携わり、続けて行っているのかを知ることにより、自分達がどうやって、どういう考えで仕事を見つけていけば良いかのヒントをつかんでくれたらと思っています。

次のページに続く

最後に8月に初めて卒院前の院生の個人面談をする機会に恵まれました。いつもなら集合講話ですから、一人一人の感想や悩みを直接聞くことができませんが、面談した院生から講義の感想や卒園してからの自分の仕事に関する不安や目標を聞くことができました。また、私の講義資料は大切に取っており、卒園した後にも読み返そうと思っ  
ているという話をしてくれて大変うれしく思いました。

そしてその院生の中で今までの事は大いに反省し、二度と学園には戻らないし、卒院してからの自分の生活に目標を持って前向きに考えていることを聞かされ、またどうやれば目標に近づけるか真剣に悩み、考えていることがわかりました。初めての個人面談で、ほとんど院生の話を聞くだけに終わりましたが、得る事はたくさんありました。

これからも、よき相談相手として、理解者、援助者、育成者、指導者となれるように、日々研鑽して行きたいと思っ  
ています。

## 「全日本功労表彰」を頂きました

芳村恵子

この度「全日本功労表彰」を頂きました。本当に有難うございました。皆様のご支援のお陰と感謝しています。

1995年、2年間の通信教育を受け、社団法人青少年育成国民会議より青少年育成アドバイザーに認定されました。このきっかけを作ってくださった澤喜美枝さんとのご縁に感謝しています。そして、学習中から、鳥取県青少年育成アドバイザーの仲間に入れて頂きました。

私は、日本家族計画協会より既に認定を受けていた思春期保健相談士と助産師であることを軸に青少年との関わりのテーマを「性教育」として活動を始めました。

当初、性教育には「寝た子を起こすな」などと年長者からのブーイングも多くありました。性を学ぶとは「いのちの大切さ」「健康学習」であることをまず理解して頂くことが先決で、保護者や教

師の方を対象とした活動から始めました。現在は小・中・高の学校に出向いたり、保護者の方と子育て談議をさせて貰っています。今後も、青少年だけでなくその家族や社会が「生きる力」をつけ、幸せに過ごせることを願い、微力ではありますが活動を続けていきたいと思っ  
ています。

また、今日まで会員として活動を続けて来れたのは、通信担当という役割を頂いたことが大きかったと思っ  
ています。1997年第11号より早20年間、今回で78号発刊してきました。高橋前会長より、新聞作りのノウハウを教えて貰いました。仕事で集会にも足が遠のく時期もありましたが、通信が私の居場所となってくれました。これからも、通信が仲間のコミュニケーションとして、またホームページを見てくださいる方へアドバイザーのPRになればと思っ  
ています。

ところで、そろそろこの素晴らしき通信担当のバトンを受けてくださる方はありませんか？



## 編集後記

今年は、次々にやってくる自然災害に、日本中が悩まされています。皆様の身近な方も被害に合われた方もいらっしゃるのではないのでしょうか。一日も早く復興されることをお祈りいたします。

あの暑い暑い夏も終え、街路樹の桜が色付き始めました。「インフルエンザ予防接種のお知らせ」も届き、今度は寒さ対策に変わりました。

皆様どうかお身体に気をつけられ、またお会いしましょう。

通信担当 芳村